

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名						
政策部政策企画課		中海・宍道湖・大山圏域市長会事業負担金（政策企画課分）						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	本圏域は全国の主要都市圏に劣らぬ人口規模であり、多様な産業や国内外につながる交通・物流インフラを有している。これらの高いポテンシャルを最大限活用し、日本海側を代表する拠点づくりを進める。		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			圏域人口（人）	624,060	624,060	624,060	621,100	600,000
	目標（何を達成するのか）							
	単独市では取り組めない、或いは効果が出にくい事業を、圏域5市で連携し、スケールメリットを活かすことで、圏域版総合戦略に掲げた地方創生の取組みを推進していく。							
事業概要	【構成市】松江市・出雲市・安来市・米子市・境港市 【オブザーバー】大山圏域7町村（日吉津村、大山町、南部町、伯耆町、日南町、日野町、江府町） 【設立年月】平成24年4月（前身の中海市長会は平成19年7月設立） 【事業概要】令和7年度からスタートした第3期圏域版総合戦略に基づき、各市負担金や各種交付金を活用しながら、目標である圏域人口60万人の確保に向け、ビジネスマッチング、山陰いいものマルシェや観光誘客などに取り組む。 松江市負担金のうち、産業振興及び観光振興関係以外の予算を本事業にて計上。 （目標値の目標年度）圏域人口：2060（R42）年度							
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	台湾企業との商談会の開催や、ケララ州との経済交流を拡大する覚書MOU更新により、さらなる交流の活性化を目指すとともに、両地域の企業連携を促進し、経済交流等の拡大を図ることで、地産外商による持続的経済基盤の構築を目指す。国内に向けた圏域への誘客促進として、テレビドラマ放送を契機に圏域のブランド力を高め、圏域への誘客及び周遊促進、観光消費拡大を図る。産業振興及び観光振興関係予算は各部において別途計上。（産業振興20,340千円 観光振興		台日産業連携推進オフィス（TJPO）と連携し、台湾企業と圏域企業による社会実験を支援するとともに、台湾人材のインターンシップ受入れを新たに実施する。インド交流においては、再調印したMOUに基づき事業推進組織を設置し、重点分野における具体的成果に繋げる。圏域インフラ整備推進に向けた要望活動を継続実施するほか、圏域への誘客促進による観光消費拡大を図る。産業振興及び観光振興関係予算は各部において別途計上。（産業振興18,645千円 観光振興13,108千円）		台日産業連携推進オフィス（TJPO）と連携し、台湾への進出を検討している事業者を支援するとともに、台湾人材のインターンシップ受入れを実施する。インド交流においては、再調印したMOUに基づき、重点分野における具体的成果に繋げる。圏域インフラ整備推進に向けた要望活動を継続実施するほか、圏域への誘客促進による観光消費拡大を図る。産業振興及び観光振興関係予算は各部において別途計上。			
	達成度							
	計画目標に向けて順調に推移							
財源内訳	歳入・歳出の推移（単位：千円）		R6	R7		R8		
			決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費		4,322	6,365	6,365	6,142	-223	
	国・県支出金		0	0		0	0	
	地方債		0	0		0	0	
	その他		0	0		0	0	
	一般財源		4,322	6,365	6,365	6,142	-223	
歳入合計		4,322	6,365	6,365	6,142	-223		
課題	圏域全体として人口減少が続いており、社会減の原因としては、圏域外への進学や就職による転出増加が大きな要因となっている。こうした状況において、Uターン者等の移住・定住者の確保は人口維持に向けて特に重要であることから、圏域が一体となり、高規格道路や新幹線等の社会インフラ整備や、観光及び産業振興を図ることで、圏域の暮らしやすさを向上するとともに、圏域の魅力を積極的に発信していくことが必要である。		方向性	台湾、インドとの経済交流を一層進めるとともに、中海・宍道湖8の字ルート、中国横断新幹線（伯備新幹線）等の整備を引き続き推進する。また、地域の多様な関係者との合意形成を図ることにより、持続可能な観光地づくりに取り組むほか、幅広い年代の人々が圏域の繋がりが一体感を感じられる事業を行い、他の地域にない圏域の魅力を創出・発信し、選ばれる圏域、持続可能な社会を実現する。				

松江市総合計画	基本目標	なかまづくり
	基本施策	宍道湖・中海を囲むエリアはひとつのまち
	主要施策	

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	8月	第1回総会		
	2月	第2回総会		
	随時	幹事会、担当課長会		
	通年	産業・観光・環境等の連携事業		

本事業に関する主要データ	
令和8年度の主な事業 ◆インド・台湾との経済等交流の促進 【(インド交流)】令和7年10月に再調印したケララ州との経済交流拡大を目指す覚書(MOU)に基づき、事業推進組織を設置し重点分野における具体的な成果に繋げる。 【(台湾交流)】令和7年11月に開始した台日産業連携推進オフィス(TJP0)とのスマートソリューション分野における連携を本格化する。 令和8年度新規事業 ①台湾企業と圏域企業が協力して地域課題解決を目指す社会実験の支援(主にインバウンド観光分野から) ②台湾人材のインターンシップ受入(予定人数3名) ◆圏域インフラの整備推進 「中海・宍道湖8の字ルート整備推進会議」及び「中国横断新幹線(伯備新幹線)整備推進会議」などを通じた、圏域交通ネットワーク整備促進に向けた要望活動や地域PRを実施する。 ◆圏域への誘客促進 【(国内誘客)】女子旅に繋がる人気アニメを活用した周遊事業や基幹交通機関と連携したプロモーションに取り組む。 【(海外誘客)】米子空港からの直行便がある台湾・韓国を引き続き重点事業として取り組むほか、欧米豪の富裕層を今後の最重要ターゲットに設定し、力を傾注していく。	
	 日印経済フォーラムへの出席(令和7年8月)
	 「台湾スマートソリューション商談会・展示会 in米子2025」の開催(令和7年11月)
	 中海・宍道湖8の字ルート整備状況(令和7年4月時点)

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	6,142		
事業費計			6,142